

平成25年1月24日

平成23年（行ウ）17号／18号

原告 前川盛治ほか274名／原告 前川盛治ほか120名

被告 沖縄県知事仲井間弘多／被告 沖縄市市長東門美津子

那覇地方裁判所 御中

証拠説明書（甲C89～甲C98）

原告ら訴訟代理人弁護士 原田彰好

号証	証拠の標目	原・写	作成日	作成者	立証趣旨
甲C89	沿岸環境の豆知識/沿岸環境研究チーム	写し	不詳	独立行政法人港湾空港技術研究所	沿岸域の自然環境に関する解説内容
甲C90	博多湾人工島問題Web上の記事	写し	不詳	和白干潟を守る会	博多湾和白干潟における人工島方式の埋立事業において、工事の進捗に伴い環境が悪化していることが報告されていること
甲C91	シンポジウム「豊かな海を取り戻すために」パンフレット	写し	2012年9月2日	沖縄弁護士会	同上
甲C92	「沖縄野鳥の会会長山城正邦氏提供」と題するグラフ3点	写し	平成24年12月頃	沖縄野鳥の会会長山城正邦	当該各干潟の野鳥飛来数は、沖縄野鳥の会会長山城正邦氏が既存の調査結果を用いて以下のグラフとして整理したように変遷してきていること。各干潟における埋立等の工事により、鳥類の生息に悪影響が現れていること ①図2 漫湖における水鳥の最大個体数及び種類数の変遷 ②図4 参照（中城湾港新港地区（塩屋干潟。なお、原告準備書面（25）では「川田干潟」と呼称している）における埋立事業実施前後の水鳥生息状況 ③図14 泡瀬干潟におけるムナグロ越冬

					個体数変遷
甲C93	中城湾港（新港地区）公有水面埋立事業に係る環境影響評価書 平成6年7月	写し	平成6年7月	沖縄県	同評価書における鳥類相の調査結果と予測評価の内容
甲C94	平成15年度中城湾港泡瀬地区環境監視委員会資料第2回委員会資料	写し	平成15年7月29日	沖縄総合事務局開発建設部 外	新港地区の平成14年度の鳥類調査結果、同結果と平成4年度調査結果との比較。新港地区では埋立工事後、鳥類飛来数が激減したこと
甲C95	平成24年度中城湾港泡瀬地区環境監視委員会第1回委員会資料	写し	平成24年7月30日	沖縄総合事務局開発建設部 外	泡瀬干潟におけるシギ・チドリ類の過去からの出現状況（上の図）、泡瀬干潟におけるムナグロの最大個体数の変遷（下の図）。ムナグロの飛来数が減少傾向であること
甲C96	平成22年度環境省請負業務モニタリングサイト1000 シギ・チドリ類調査冬期速報	写し	不詳	環境省自然環境局生物多様性センター	2010年度の泡瀬干潟におけるムナグロの冬期最大飛来数が1468羽であったこと（56頁）
甲C97	泡瀬干潟・浅海域埋立事業環境監視への抗議声明	写し	2011年9月26日	元・中城湾港泡瀬地区環境監視委員会 開発法子	元委員である本書面作成者が、事業ありきの「環境監視」として形骸化した「環境監視委員会」に対し抗議声明を出し、結局同委員を辞任したこと
甲C98	人工島の野鳥観察地への期待と落胆	写し	2013年1月18日	元・中城湾港泡瀬地区環境保全創造検討委員 赤嶺得信	元委員である本書面作成者が、委員会の運営に落胆して同委員を辞任したこと